

第 3468 回例会 (令和 7 年 8 月28日・木)

今週のプログラム 8 月28日 (木)

「松江4クラブ合同例会」

ホスト：松江東RC
会 場：ホテル一畑 平安
例 会：18時30分～
懇親会：例会終了後～20時50分 (予定)

次週のプログラム

9 月 3 日 (水) ゲストスピーチ

「薬用作物の里づくり共創プロジェクト —栽培から出口形成まで。産官学民で取り組む地域づくり—

島根大学医学部附属病院
脳神経内科 医師
合同会社薬雲 代表 片岡 諒氏

●例会変更のお知らせ

月 日	クラブ名	受付場所
8 月28日(木)	松 江 東	ホテル一畑
8 月28日(木)	平 田	ホテルほり江
9 月 1 日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
9 月 2 日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
9 月16日(火)	松江しんじ湖	ホテル一畑
9 月25日(木)	松 江 東	ホテル一畑
9 月29日(月)	松 江 南	松江エクセルホテル東急
9 月30日(火)	境 港	境港ロータリークラブ事務局 (境港市上道町3147)

2025年8月～9月の予定

- 8 月28日(木) 松江4クラブ合同例会
ホスト：松江東RC
会 場：ホテル一畑 平安
例 会：18時30分～
懇親会：例会終了後～20時50分 (予定)
- 9 月 3 日(水) 定例理事会
- 9 月10日(水) 郷土の芸術を鑑賞する例会
時 間：12時30分～13時30分
場 所：(株)佐藤組 堂形町737-3
- ※ 9 月17日(水) 休会
- 9 月24日(水) バイキング形式の食事

第3467回例会記録

令和 7 年 8 月20日 (水・晴れ)

	会員数 (人)	出席者数 (人)	欠席者数 (人)	出席率 (%) (出席免除会員含む)	前々回補正 (%) (出席免除会員含む)
松江クラブ	59	45 (リアル ⁴³ オンライン ²)	14	78.95	84.90

メーキャップ：山田 (松江南)、川本文 (水郷祭翌朝清掃)

会 務 報 告

- 本日は会員スピーチです。
医療法人勝部医院 理事長 勝部 晋会員
- 衛星クラブから3名出席
- 先般7月、加藤 令会員より、財団へ1000ドルの寄付、100ドルをポリオプラスへ寄付頂きました。ロータリー財団より、ポールハリスフェロー第9回のピンバッジがとどきましたのでお渡しします。
加藤 令会員に贈呈
- 7月9日歴代会長会において2027-28年度会長予定者として、山崎徹会員が推挙され、8月理事会で承認されました。
本日、山崎徹副会長は、所用で欠席ですが、ご報告致します。
- 新会員のご紹介
お 名 前：伊藤昭博様
事 業 所：中電プラント(株)山陰支社長
職業分類：プラント建設
推 薦 者：佐藤尚士会員 原田光明会員
目次真司会員増強理事より紹介
伊藤昭博様ご挨拶 バッジと名札お渡し

【臨時総会】

議長：後藤 勇会長
昨年度 (2024-25年度) の決算書について目次慎司直前幹事より説明致します。

目次真司直前幹事
お手元にお配りしております昨年度 (2024-25年度) 一般会計、衛星クラブ、地区補助金事業の決算書について説明致します。
昨年度決算書につきましては7月30日、当クラブの中村寿夫会計、後藤 勇公認会計士のお二人に会計監査を受け承認を得ております事を申し添えます。

議長：後藤 勇会長
本年度 (2025-26年度) の予算書 (案) についてお諮り致します。
お手元にお配りしております本年度 (2025-26年度) の一般会計と、衛星クラブ予算書 (案) について、友塚順子幹事より説明致します。

友塚順子幹事
本年度 (2025-26年度) の予算書 (案) について説明 (一般会計、衛星クラブ)

白根澄男会場監督

拍手を以って全てご承認頂きました。
これを持ちまして総会を終わります。

友塚順子幹事

- ロータリー財団よりお知らせを配付しております。
今まで寄付明細が発行されておりましたが、2025年7月より終了のため、今後は、「寄付送金明細書」を事務局より控えとしてお渡しいたします。
- 次週、8月27日(水)は8月28日(木)の松江4クラブ合同例会に例会変更のため例会なし
8月28日(木) ホテル一畑 平安において、18時30分から松江4クラブ合同例会が開催されます。
1月28日以降入会の方は紹介がありますので、開始時間に遅れないようにお出かけ下さい。
- 9月3日(水) 例会終了後、定例理事会を開催致します。
- 8月14日から、事務局の光ケーブルの断線で電話、FAX、メールが繋がらず、18日に目次さんにメールだけ仮復旧していただきました。
昨日ケーブルが届き、仙田さんに交換していただき、無事、復旧。
今後、万一、繋がらない時は、幹事携帯か、事務局島村さんの携帯に電話をお願いします。

委員会報告

- 親睦・出席委員会 山根 睦親睦出席副委員長
出席報告
- 公共イメージ委員会 杉原 有委員長
ロータリーの友8月号の紹介

プログラム

「やさしい免疫のお話」

医療法人勝部医院 理事長 勝部 晋氏



ニコニコ箱

21,000 円

勝部 (本日スピーチさせていただきます。)

後藤、今井、小林、友塚、錦織、福田、堀江 (勝部晋会員のスピーチに。)

後藤 (伊藤昭博様を新会員にお迎えして。)

佐藤尚 (伊藤昭博さん、入会ありがとうございます。)

谷口正 (新会員伊藤様 中司会員の後、間を空けずにご入会いただきありがとうございます。ようこそ松江ロータリークラブへ!!)

加藤 (石破首相がビル・ゲイツと面談し、途上国の子どものワクチン接種に1.1億ドル/年を5年間支援すること。一方、ビル&メリンダ・ゲイツ財団は、1年で10億ドルをロータリーのポリオへ。素晴らしい。)

大谷浩 (結婚月)

後藤 (誕生月)

舟越 (出席100%賞)

ベストメッセージ賞：該当者なし

司会 白根澄男会場監督

ひとこと
随想

「採集」夜間例会



桑原 正樹

6月の衛星クラブ例会は、宍道湖畔でエビを採集し、そのエビの素揚げを食べながら、湖の環境について考えるという会でした。

エビ取りの主な対象となるテナガエビ、当地では「ナガテ」とも呼ばれます。長い「手」とされるのは2番目のあし(歩脚)です。彼らは夜行性で、昼間は石の間に潜んでいます。夜になると出てきて活発に活動します。

エビ取りには、エビタモという小型の丸いタモを使います。エビはライトを当てると目が赤く光り見つけやすく、コツをつかめば誰でも簡単に捕まえることができます。コツの一つがタモを出す向きです。エビは前よりも後ろにすばやく逃げるので、後ろからタモを出すと取りやすいです。ただし、理屈はそうであっても実際は石が邪魔をして、思った位置にタモが出せません。モタモタしていると石の隙間に逃げられてしまいます。

捕まえたエビは、煮つけや素揚げで調理します。子供のおやつや大人のつまみに、旬の宍道湖の味覚で絶品です。

さて、エビを取り巻く課題についても考えてみました。

例えば、水辺が隙間無く護岸されてしまうと、エビの隠れ家がなくなってしまいます。一方で治水工事としてはしっかりした護岸を作らないと地域の安全を守れません。エビと人の生活の両立はなかなか難しいようです。

また、農業害虫の殺虫成分がエビに影響すると指摘する声もあります。虫とエビは同じ節足動物なので影響を受けやすいようです。

このほか温暖化の為か、近年、夏の水位が高く、湖岸の捨石が水没して、エビ取りができなくなっています。たまたまこの捨石を組みなおす、護岸工事がありました。説明にこられた国交省の方に、石の上を人が歩くようにもう少し高くできないか尋ねてみました。回答は、石の高さにも決まりがあり、そもそも石の上は危ないから歩かないでほしいとのことでした。

エビ取りは初夏の宍道湖の風物詩、松江の夜の楽しみとして、いつまでも続いてほしいものです。

(漁業協同組合)

松江ヤングリーダーズロータリー衛星クラブ8月単独例会

令和7年8月7日(木) 10:30～ フードバンク島根訪問

	会員数(人)	出席者数(人)	欠席者数(人)	出席率(%)
衛星クラブ	10	8	2	80.00

■出席者：9名

内藤葉子議長、青木義親会員、川井香織会員、片寄洋子会員、古安勇太会員、仙田利夫会員、木幡晋介会員、桑原正樹研修リーダー、勝谷有史会員（親クラブ）

■8月例会報告

フードバンクしまね「パッキング作業」支援活動

2025年8月7日、衛星クラブは8月例会として、特定非営利活動法人フードバンクしまね様が行う「あったか元気便」のパッキング作業に参加いたしました。フードバンクしまね様は、企業や家庭から余剰・規格外などの安全な食品を寄贈いただき、松江市内の小中学校に通う生活困窮世帯へ無償で届ける活動を続けておられます。今回の支援対象は630世帯にのぼり、夏休み期間の給食がない時期に、特に重要な食料支援となっております。

当日は、衛星クラブから8名、松江ロータリークラブから1名が参加し、約2時間にわたり食品の箱詰め作業をお手伝いしました。作業後には約30分間、スタッフの皆さまから活動内容や松江市内の生活困窮世帯の現状についてご説明をいただき、地域が抱える課題とその支援のあり方について理解を深める機会となりました。

活動内容

パッキング作業は、世帯ごとの家族構成や年齢、アレルギーの有無などに応じて、ご飯類やお菓子などを仕分け、段ボールに詰める工程です。人気商品やアレルギー対応品は特に慎重に確認し、入れ忘れや誤配がないよう注意を払いながら進めます。また、全ての箱には温かいメッセージが添えられ、受け取る方への心配りが感じられました。

お菓子を必ず入れているのは、友達同士でお菓子を持ち寄る場面で、経済的な理由から用意できない子どもが孤立することを防ぐためです。こうした細やかな配慮からも、食の支援が単なる物資提供ではなく、人のつながりを守る活動であることを実感しました。

松江市の現状と課題

今回の説明で、松江市の小中学生に占める就学援助世帯の割合が14.2%に達していることを知り、参加者一同、大きな驚きを持ちました。県内には20%を超える自治体もあり、支援の必要性は高まっています。また、生活困窮世帯は経済的貧困だけでなく、孤立や体験機会の欠如といった課題も抱えていることが指摘されました。

物価高騰の影響で寄贈物資は減少傾向にあり、今回のパッキングで使用した食品の約半分は購入されたものでした。さらに、活動規模の拡大に伴いボランティア人員が不足しているとのことで、人材確保も喫緊の課題です。

参加者の気づきと提案

今回の活動では、参加者それぞれが現場を目にし、実際に手を動かしたからこそ得られた多くの気づきがありました。まず、支援対象となるご家庭の中には、複数の育ち盛りの子どもや高齢の家族を抱えるシングルマザー世帯が多く、夏休み期間は特に食料の需要が増えるにもかかわらず、物価高騰により十分な量を確保できないという厳しい現実がありました。

また、貧困は金銭的不足だけでなく、「孤立」や「体験機会の欠如」という形でも現れます。子どもたちが学校外での経験を得られないことは、将来の自己肯定感や社会性の形成に大きく影響します。そのため、物資や金銭援助と同時に、多様な体験の提供も不可欠であるという共通認識が生まれました。

具体的な提案としては、以下のような意見が出されました。

1. 体験活動の提供

- ・ハゼ釣り、農作物の収穫体験、和菓子作りなど、地域の特色を活かした活動を実施する。
- ・美術展やスポーツ観戦（島根スサノオマジック試合など）へ招待。

2. 企業・団体との連携

- ・地域企業のCSR活動や社員研修の一環として、パッキングや運搬などのボランティア参加を促す。
- ・イベントや催し物の余剰チケット、美術館や水郷祭などの招待券を提供してもらう。

3. ロータリーとしての取り組み

- 親会例会での講話実施と募金箱の設置による継続的支援の呼びかけ。
- 会員企業や関係先への周知を強化し、物資・資金援助の輪を広げる。

4. 人材支援の強化

- ・ボランティアの担い手不足を補うため、地域の若者や学生にも参加を促す仕組み作り。
- ・季節ごとのイベントに合わせた短期ボランティア募集。

参加者の中には、「こうした体験が、将来その企業や地域への就職・定住意欲につながるかもしれない」という意見もありました。単発的な支援だけでなく、地域と子どもたちが継続的につながる関係を築くことが、長期的には地域の活性化にも寄与します。

活動を通じての学び

今回の活動を通じ、参加者は「食の支援は命をつなぐだけでなく、人と人とのつながりや心の支えにもなる」とことを改めて学びました。支援は目に見える形だけでなく、見えにくい孤立や心の負担を軽減する役割も果たします。フードバンクしまね様の活動は、単なる物資提供にとどまらず、体験や交流を通じて受け手の心を温める取り組みです。今後も私たちは、この輪を広げるための行動を模索し、地域全体で「おたがいさま」の精神を育んでまいります。

（議長 内藤葉子）



新 入 会 員 紹 介



氏 名
入 会 日
推 薦 者
在籍していたロータリークラブ名

いとうあきひろ
伊藤昭博
2025年8月20日
佐藤尚士会員、原田光明会員
なし